2024年09月10日現在 氏名 Davis Shane Kenneth

■職務要約

私は、Shane Davis Inc.という自社を運営しており、これまでに主にUS Braille (米国点字協会) との契約業務に 従事してきました。この業務では、Pythonを用いて医療文書を視覚障がい者向けにアクセス可能な形式に変換する PDF処理ツールを開発しました。また、Azureを活用して大規模なファイル処理APIの構築および管理も行っており、これにより多くの医療文書が効率的に処理される仕組みを提供しています。

■職務経歴の概要

·2020年06月~現在 Shane Davis Inc.

■活かせる経験・知識

- ・Pythonを使用した4年以上のプログラミング経験。
- ・業務を通じて身に付けた、米国障害者法(ADA)に基づくアクセシブル文書の基準に関する知識。
- ・Azureを活用した1年以上の経験、特に仮想マシンツール、API管理、Function Apps、ネットワーキングに関するスキル。
 - ・GitHubを活用した開発者との共同作業に熟練し、Azureへのデプロイメント経験も豊富。

■技術スキル

| スキル | | 実務経験 | スキル | | 実務経験 |
|---------|------------|------|---------|--------------------|------|
| 0S | Windows 10 | 4年以上 | フレームワーク | React/React Native | 1年以上 |
| 言語 | Python | 4年以上 | 1 | Tensorflow | 1年以上 |
| | JavaScript | 1年未満 | 1 | PyTorch | 1年以上 |
| | С | 1年以上 | 1 | RegEx | 4年以上 |
| | Java | 1年以上 | DB | MongoDB | 1年以上 |
| | AutoHotkey | 2年以上 | 1 | Azure Storage | 1年未満 |
| ミドルウェア/ | Nginx | 1年以上 | ツール | GitHub | 4年以上 |
| サーバー | Azure | 1年未満 | 1 | Docker | 1年以上 |

■職務経歴

2020年06月~現在 我が社 Shane Davis Inc.

| 期間 | <mark>プロジェクト内容</mark> | <mark>担当フェーズ</mark> | 環境 | メンバー/役割 |
|----------|--------------------------------------|---------------------|----------------|----------|
| 2020年06月 | ・医療用PDF文書を視覚障がい者向けにアクセ | ・プロジェクト全 | • Windows | ・2名のチーム構 |
| ~ | ス可能な形式に変換することを目的としたプ | 体の設計および作 | • Python | 成。 |
| 2023年10月 | ロジェクト。 | 成。 | • RegEx | ・プロジェクト |
| | ・自然言語処理技術を用いて段落の分割や高 | ・デプロイメント | • GitHub | リーダーを担 |
| | 度な表処理アルゴリズムを実装。 | とテストの責任 | i I | 当。 |
| | ・医療文書の種類ごとに個別のコンバーター | 者。 | 1 | ! ! |
| | を開発するなど、スケーラブルなシステム設 | | ! ! ! | ! ! |
| | 計。 | | ! ! ! | ! ! |
| | ・本プロジェクトは社内専用であり、一般公 | | ! ! ! | ! ! |
| | 開は行わない。 | | | |
| 2021年01月 | ・医療機関がPDF文書を送信し、システム側で | ・設計、開発、お | • Windows | ・2名のチーム構 |
| ~ | 処理後に印刷および発送を行い、処理完了後 | よびデプロイメン | • Azure | 成。 |
| 2023年09月 | に成功レスポンスを送信するスケーラブルな | トを担当。 | • Python | ・プロジェクト |
| | ファイル処理APIの開発プロジェクト。 | | ·Azure Storage | リーダーを担 |
| | ・Azureを活用して、API Management、 | | • GitHub | 当。 |
| | Function Apps, Virtual Machine Scale | | | |
| | Set、Azure Storage、ネットワーキングなど | | | |
| | のツールを使用。 | | | |
| | ・医療文書の機密情報を扱うため、セキュリ | | | |
| | ティを重視した設計を実施。 | | | |

■資格

特にありません。

■自己PR

私は、ソフトウェアとハードウェアの両面での開発経験を有しています。例えば、CADソフトウェアを駆使した3Dプリントプロジェクトでは、プロトタイプ設計に取り組みました。また、PDF処理システムの開発では、ネットワーク構築から運用に至るまで幅広い役割を担い、顧客に最適なソリューションを提供してきました。今後も新しい技術への挑戦を続け、幅広い分野で貢献できるよう努めてまいります。

以上